

黒滝村総合計画（令和3年度進捗分）の効果検証結果について 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業（令和2～3年度進捗分）の効果検証結果について

1. 黒滝村総合計画審議会による効果検証会議開催日

日 時	令和4年8月25日（木） 10:00～11:15
場 所	黒滝村役場 2階会議室
出席委員	外部有識者9名

2. 黒滝村総合計画（令和3年度進捗分）基本施策別事業進捗率 集計表

（別表の効果検証シート及び会議議事録と併せて重要事業評価指標（KPI）の達成状況を村ホームページで公表。）

	事業数	事業進捗率・自己評価			効果検証会議評価		
		100～90% A	89～50% B	50%未満 C	A	B	C
基本施策1 住み慣れた地域で生きがい が持てる村づくり	19	10	4	5	10	4	5
基本施策2 安心して暮らすことので きる村づくり	10	4	5	1	4	5	1
基本施策3 快適で暮らしやすい村 づくり	6	6	—	—	6	—	—
基本施策4 魅力をいかした活力の ある村づくり	13	11	1	1	11	1	1
基本施策5 心豊かに暮らせる村づ くり	9	3	5	1	3	5	1
基本施策6 夢のある新たな村づくり	3	1	—	2	1	—	2
合 計	60	35	15	10	35	15	10

(総合計画重要事業評価指標 (KPI) の効果検証作業手順)

①目標値 (令和3年度当初) に対する実績値 (令和3年度末)

$$\text{進捗率} = \frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$$

※実績値は単年度と累計値の場合があります。

(例)
令和2年度現状値 8人
↓
3年度実績値 10人
目標値 13人
進捗率 76.9%
↓
令和9年度目標値 13人

②「目標値」は各年度の目標値 (予算要求時または事業着手時に設定する目標値) を記入。

③自己評価は実績値と目標値または進捗率との差分を以下の基準により判断。

- ・評価の視点：施策は効果を得ることができているか。
長期的な効果が見込めるか。
事業の進め方、事業内容、実施主体は適切か。
- ・評価
 - A 目標達成 (高い効果が得られた、進捗率 90%以上)
 - B 目標どおり (一定の効果が得られた、進捗率 50%~90%以上)
 - C 目標を下回る (効果は不十分もしくは見られなかった、進捗率 50%以下)

④審議会による評価

- ・各項目の実績値及び自己評価について、効果検証会議において意見の取りまとめ。
- ・事前の質問・意見について、会議上で書面により回答。会議には各担当課局が出席しないため、専門的な内容はできるだけ事前に提出。
- ・評価の結果は、後に村議会で報告を行い、同様に意見の取りまとめを行った後、村ホームページ等で内容を公表。

3. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の効果検証作業について (審議会による評価)

- ・各事業の事業概要・効果概要・効果実績・効果発現に向けた取組の工夫について、効果検証会議において、2と併せて意見の取りまとめを実施。

※根拠・参照

- ・内閣府地方創生推進室の事務連絡「地方版総合戦略の策定・効果検証のための手引き」
- ・内閣府地方創生推進室の事務連絡「交付金事業終了後速やかに実施状況の公表及び効果の検証」(毎年発出)

3. 黒滝村議会による効果検証内容結果の報告

日 時	令和4年12月2日(金) 11:00~17:00
場 所	黒滝村役場 2階会議室
出席委員	黒滝村議会議員6名